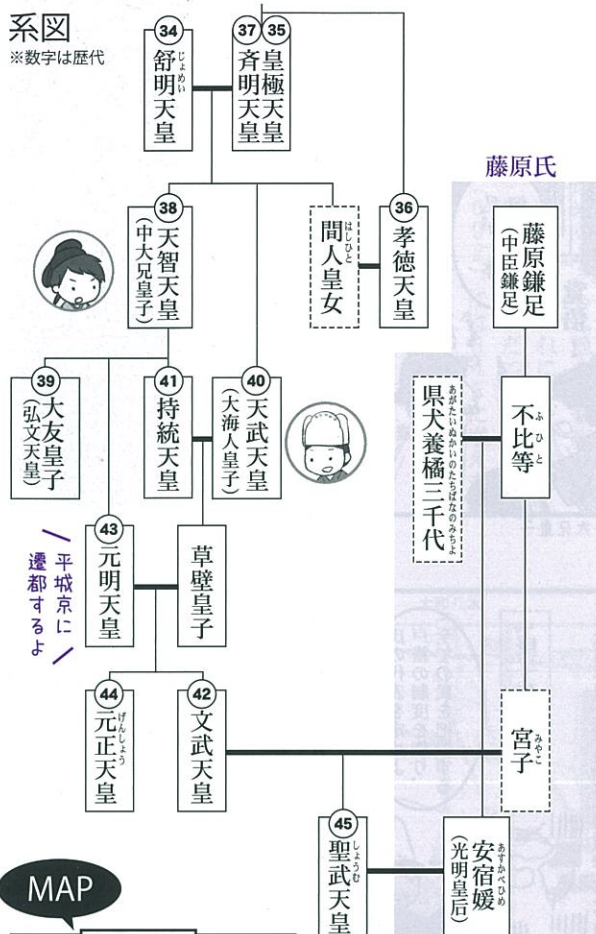


◆2015年7月18日(土)～9月23日(水・祝) 奈良国立博物館

はくほう
白鳳時代って
どんな時代？

国内外で戦いが起き、激動の時代ですが、新しい制度を設けるなど律令国家づくりに向けて大きく前進しました。

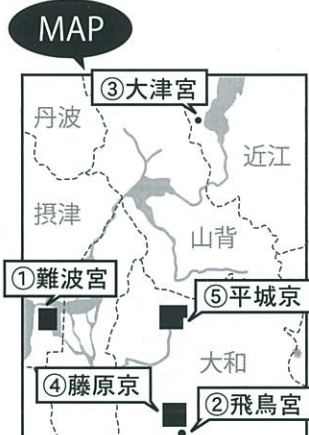
そのような時代の流れを反映して、
前の飛鳥時代とも、後の天平時代とも
違う、若々しく明るい雰囲気になっ
て満ちた文化が開花しました。



てんむ
天武天皇

じとう
持統天皇

てんじ
天智天皇



7 1 0	7 0 7	6 9 1	9 6 0	6 8 4	6 8 2	6 8 1	6 7 0	6 7 6	6 7 3	6 7 2	6 7 1	6 7 0	6 6 7	6 6 4	6 6 3	6 6 1	6 6 0	5 5 5	6 4 6	6 4 5		
元明天皇		文武天皇		持統天皇		天武天皇					天智天皇					斉明天皇			孝徳天皇		皇極天皇	
○元明天皇即位 ○都を平城京（地図⑤）へ移す		○持統天皇が譲位し、文武天皇即位 ○大宝律令完成		○即位が予定されていた天武天皇の子・草壁皇子が死去 ○持統天皇即位 ○「飛鳥浄御原令」施行 ○藤原京に遷都		○壬申の乱 天智天皇の子・大友皇子と天皇の弟・大海人皇子が皇位を巡って争い、大海人皇子が勝利 ○大海人皇子、飛鳥で即位し、新たに浄御原宮（地図②）の建設を開始する ○全国で金光明経・仁王経の講説 ○后（後の持統天皇）の病のため、薬師寺の建立を発願 ○日本史上初の体系的な令「飛鳥浄御原令」の編纂開始 ○藤原京（地図④）の造営開始 ○新しい氏姓制度「八色の姓」を制定 ○天武天皇崩御					○白村江の戦い 百済の救援に向かった倭王朝の軍が唐と新羅の連合軍に大敗 ○二十六階冠位制を制定 ○大津宮（地図③）へ遷都 ○日本最古の全国的な戸籍「庚午年籍」の作成 ○天智天皇崩御					○飛鳥板蓋宮（地図②）で斉明天皇即位 ○唐と新羅が攻め込み、朝鮮半島の百済滅亡。 ○斉明天皇、百済救援のための九州遠征の途中で崩御			○難波宮（地図①）に遷都 ○改新の詔の発布		○乙巳の変（大化の改新） 中大兄皇子（後の天智天皇）と中臣鎌足が蘇我氏を倒す	

白鳳時代の 主な出来事

645年 乙巳の変

聖徳太子の死後、蘇我氏が勢力を強め、天皇をしのぐほどの力を持つようになっていました。中大兄皇子は天皇の権力を取り戻そうと、蘇我氏を倒します



↑中大兄皇子

その後、二人の天皇が即位しましたが、その間、皇太子として政策立案の中心を担ったのは中大兄皇子でした



この時、朝鮮半島では百済が唐と新羅の侵襲を受けていました。倭王朝は大規模な軍を百済に送り出す



663年 白村江の戦い
しかし、唐の水軍に大敗します

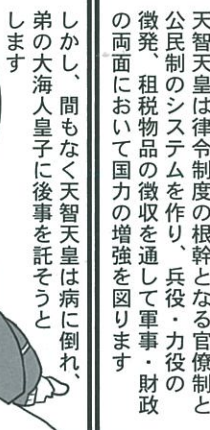
中大兄皇子は国防を強化し、近江・大津宮に遷都します



668年
中大兄皇子が天智天皇として即位

『庚午年鑑』
天智天皇は律令制度の根幹となる官制と公民制のシステムを作り、兵役・力役の徴発、租税物品の徴収を通して軍事・財政の両面において国力の増強を図ります

氏代表を定め、戸籍の制度を作り、全ての民を把握する



兄は私が次期天皇の座を希望すれば私を殺すだろう



大海人皇子は出家し、吉野へ家族と共に隠れます。天智天皇の死後は息子の大海人皇子が実権を握りますが、吉野にいる大海人皇子を支持する豪族は多くいました

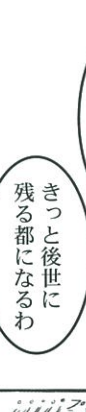
672年 壬申の乱
大海人皇子は挙兵し、大友皇子と戦い、勝利します



673年
大海人皇子が天武天皇として即位

飛鳥浄御原宮をつくり、さらに藤原京の造営を始めます

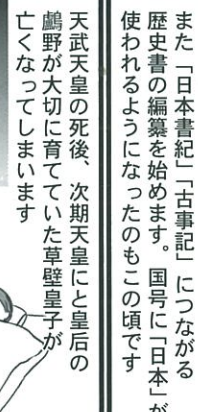
天皇が替わる度に遷都するのではなく、しっかりと都を作ろうと思う



きつと後世に残る都になるわ



また「日本書紀」「古事記」につながる歴史書の編纂が始まります。国号に「日本」が使われるようになったのもこの頃です



天武天皇の死後、次期天皇に皇后の鸕野が大切に育てていた草壁皇子が亡くなってしまいました

朝鮮半島との深い関係

7世紀後半、朝鮮半島を巡る情勢は不安定でした。660年には百済が、668年には高句麗が唐と新羅の連合軍により滅亡し、多くの人が日本に逃れてきました。また、676年に新羅が朝鮮半島を統一して以降、日本と新羅は緊密な関係を築き、新羅からの使いがさまざまな文物や情報を日本に伝えました。天武天皇・持統天皇の治世による約30年の間、遣唐使の派遣は断絶しましたが、日本は新羅経由で唐の文化を取り入れていました。初の本格的な都城・藤原京の建設や律令の制定には唐の影響がよく表れています。



仏教美術が開花！

飛鳥時代にうぶ声を上げた仏教美術が白鳳期に至って青春を迎えたかのように、白鳳文化は若々しき瑞々しさにあふれています。その傾向がよく現れているのが仏像です。白鳳時代には寺院の建設に伴い、多くの仏像が造られました。大陸からもたらされた新しい技術を取り入れ、より立体感を増した表現が定着していきました。

『万葉集』の歌が多く詠まれた時代

約4500首もの和歌からなる日本最古の歌集『万葉集』に収められた歌の多くが白鳳時代に詠まれたものです。額田王や柿本人麻呂が宮廷歌人として活躍するなど、白鳳時代は芸術に対する評価が確立した時代といえます。『万葉集』には持統天皇の有名な歌も収められています。

春過ぎて
夏来るらし
白たへの
衣干したり
天の香具山



白鳳文化ってどんな文化？

仏教が基礎になっている！

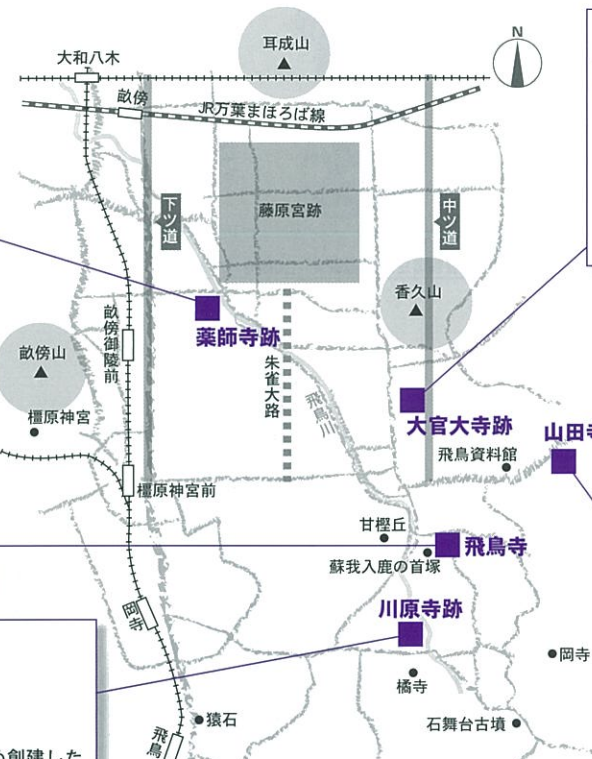
唐や朝鮮半島からもたらされた大陸の文化の影響を受けている！

若々しく明るい
雰囲気にあふれている！

全国に仏教の教えが浸透した 白鳳時代

乙巳の変を受けて即位した孝徳天皇は、蘇我氏に代わり、これからは天皇が仏教を盛んにするという宣言をしました。天皇は仏教を軸とする国造りを目指し、都での寺院の整備を進めるとともに地方の豪族の寺院造営を援助しました。これにより推古32年（624）には全国で46だった寺院の数が持統6年（692）には545に増えます。その多くは天智天皇、天武天皇の時代に創建されました。

天武天皇の時代の飛鳥の都は大官大寺、川原寺、飛鳥寺の3か寺を中心に「京内二十四寺」と称される24の寺があり、400〜500人もの僧尼を抱える仏教の中心地、「仏都」でした。天武天皇は仁王経と金光明経の2つの経典を護国経典と定め、都の僧尼らを全国に派遣し、経典の講説をさせ、仏教の教えを全国に広めようとした。また、地方寺院の建立にも都の僧尼らが技術的な面でサポートしたと考えられています。



大官大寺
初め国家寺院
舒明天皇によって639年に創建された初め国家寺院「百済大寺」が元になっています。天武天皇が場所を移し「大官大寺」という寺号を与えました。平城京遷都とともに再び移転し、「大安寺」として現在まで続いています。



国宝 仏頭（奈良・興福寺）◎飛鳥
8月18日（火）～27日（木）の期間限定展示

山田寺
国宝・仏頭は初めここに
蘇我一族の蘇我倉山石川麻呂の発願で7世紀半ばに建立されました。石川麻呂の供養のため、天武天皇の時代に「丈六仏像」の開眼供養が営まれ、その頭部が現在、興福寺に伝わる仏頭です。

橿原市や明日香村には
陵墓や古墳・遺跡が
多く残されています



飛鳥仏とも天平仏とも違う、白鳳仏の特徴って？

飛鳥時代

仏教伝来を受け、渡来系の鞍作止利により6世紀末～7世紀初めに日本で初めて仏像が造られました。北魏時代の中国や朝鮮半島の影響を受けた止利様式は飛鳥時代の仏像彫刻の中心となります。

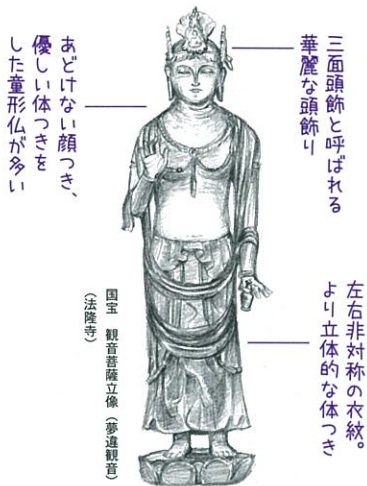


国宝 中尊・釈迦如来像（釈迦三尊像）（法隆寺）

重要文化財 釈迦如来像[飛鳥大仏]（飛鳥寺）
国宝 釈迦三尊像（法隆寺）など

白鳳時代

大陸や朝鮮半島からもたらされる初唐文化の影響を受け、より立体的な表現を目指すようになりました。大寺院の造営が本格化し、造仏の需要も増します。



国宝 観音菩薩立像（夢違観音）（法隆寺）

国宝 仏頭（興福寺）
国宝 観音菩薩立像[夢違観音]（法隆寺）など

天平時代

中国・唐の影響を直接受けるようになり、さらに写実的な表現を追求するようになります。国家が組織した大規模な官営工房で美術工芸品の制作が盛んに行われました。



国宝 乾漆八部衆立像（興福寺）
国宝 十二神将立像（新薬師寺）など

奈良国立博物館開館120年記念特別展

白鳳 —花ひらく仏教美術—



会期 2015年7月18日（土）～9月23日（水・祝）

午前9時30分～午後6時 ※毎週金曜日と8月5日（水）～15日（土）は午後7時まで、入館は閉館の30分前まで

休館日 毎週月曜日と7月21日（火） ※ただし、7月20日（月・祝）、8月10日（月）、9月21日（月・祝）は開館



会場 奈良国立博物館（奈良市登大路町50）

◆近鉄奈良駅下車徒歩約15分

◆JR奈良駅・近鉄奈良駅から市内循環バス（外回り）「氷室神社・国立博物館」下車すぐ

観覧料金	当日（個人）	前売	団体・サマーレイト
一般	1,500円	1,300円	1,200円
高校・大学生	1,000円	800円	700円
小・中学生	500円	300円	300円

※団体は20人以上。 ※前売券の発売は6月1日（月）から7月17日（金）まで。

※サマーレイト券は、毎週金曜日と8月5日（水）～15日（土）の

午後5時から入場できるチケットです（奈良国立博物館観覧券売場のみで午後5時から販売します）。

※障害者手帳をお持ちの方（介護者1人を含む）は無料。

※なら仏像館は改修工事のため休館しています。



国宝 聖観世音菩薩立像（奈良・薬師寺）



国宝 阿弥陀三尊像（伝橋夫人念持仏）（奈良・法隆寺）

主催＝奈良国立博物館、読売新聞社、NHK奈良放送局、NHKブラネット近畿
【問い合わせ】NTTハローダイヤル 050-5542-8600



白鳳展開催記念 スタンプラリー

展覧会会期中、白鳳展と、白鳳時代にゆかりの深い興福寺、薬師寺、法隆寺を巡るスタンプラリーを実施します。白鳳展と2寺院のスタンプを集めればオリジナルの記念品をプレゼント！
詳細は奈良国立博物館ホームページ（<http://www.narahaku.go.jp/>）で。



2015年7月25日（土）午後1時30分開演

白鳳フォーラム

定員
300人

会場：東大寺総合文化センター金鐘ホール（奈良市水門町100）

内容：基調講演「白鳳仏にみる生命の輝き」

金子啓明氏（興福寺国宝館館長）

パネルディスカッション「白鳳文化の時代背景～激動の時代と仏教～」

<パネリスト>里中満智子氏（マンガ家）

上野誠氏（奈良大学教授）

内藤菜氏（奈良国立博物館学芸部長）

<コーディネーター>中村宏氏（NHKアナウンサー）

■参加費：1,000円

*フォーラムのチケットは、6月1日（月）からローソンチケット（☎0570-084-005、Lコード57594）

と奈良国立博物館観覧券売場で限定300枚を販売します。全席自由席です。

フォーラムのチケットを白鳳展会期中に奈良国立博物館観覧券売場で提示すると、

当日券料金の各300円引きになります（他の割引併用不可）。

主催：奈良国立博物館、読売新聞社、NHKブラネット近畿



元気になる情報誌「yomi-ko」

奈良を中心に、京都府相楽・三重県伊賀の情報も満載した、元気になる月刊地域情報誌。グルメ情報から読み物、まちネタまでぎゅーっと詰まった一冊です。
読売新聞販売店、一部書店で取り扱ってます

イラスト制作

（株）読売奈良ライフ

奈良市内侍原町12-2

TEL.0742-27-7441 FAX.0742-27-7413

<http://www.ynl.co.jp>

【奈良の総合情報サイト 奈良っこ】運営 <http://www.narakko.com>

監修：奈良国立博物館

編集：読売新聞社、読売奈良ライフ